

令和7年度 嬉野市表彰 受賞者名簿 (敬称略)

	氏名	功労部門	功労の概要
1	にしの 西野 としゆき 俊行	地域振興	平成12年から現在まで鍋野手漉和紙保存会の会員として25年以上にわたり活動され、平成16年度から令和3年度までの18年間は会長として保存会の統制に貢献され「職人の技」を活かしたまちづくりを目指す地域振興活性化事業に努められました。また、鍋野地区地域振興推進、紙漉きの文化継承や後継者育成に尽力されている。
2	おだ 織田 とみ 智海	社会事業	主任児童委員として平成4年度から18年間にわたり、児童福祉の発展・向上及び地域福祉活動に尽力されました。また、嬉野市青少年育成市民会議では、会長として12年間にわたり、青少年の健全育成活動を統括され青少年育成弁論大会などの様々な活動を通じて、地域と家庭のつながりを絶やさず地域一体となった健全育成事業に尽力された。
3	えぐち 江口 かずのぶ 和信	体育振興	陸上競技に熱心であり、永きにわたり嬉野町陸上競技協会の事業活動に従事され、協会内において会長、理事長などを務められ運営はもとより選手や後進の指導にも尽力された。選手育成の面においては、実業団や大学の陸上競技で活躍する選手を多数輩出され、嬉野市の陸上競技の礎を築いた指導者として貢献された。令和6年9月10日逝去。享年72。
4	もり 森 しろう 四朗	文化振興	嬉野市文化連盟の会長、副会長、常任理事を歴任し、文化連盟のけん引役として活躍され、コロナ禍の困難な状況でも文化講演会、文化祭などの主要事業開催に貢献された。また、嬉野市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員や嬉野市文化財保護審議会委員を永きにわたり努められ、地区の景観保全や塩田津の活性化に尽力されている。
5	いぬお 犬尾 あつひろ 敦弘	保健衛生	嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会委員として平成20年から16年以上、また平成30年からは同協議会の会長として尽力された。豊富な見識と調整力により公平公正な運営に努められるその姿勢は、他委員の模範となるものであり、国民健康保険制度の健全な運営に寄与された。
6	みつたけ 光武 けんじろう 賢次郎	治安維持	昭和60年に消防団へ入団され40年間の永きにわたり、消防団員としての職務を全うされた。分団長や副団長を歴任された後、令和3年度から令和6年度までの4年間を消防団長として務められ、消防防災行政に多大なる貢献をされた。